



麻績村

人口：2,893人（10/1現在）
 面積：34.38㎡
 標高：621m（聖高原駅）
 1,000m（聖湖）
 村の木：コブシ
 村の花：カタクリ
 村の鳥：カッコウ

おみごと！デゴイチ修復事業実施内容

D51 蒸気機関車の修復

- ・参加者：村民有志を中心としたボランティア
- ・作業日数：20日 延人数：140人

聖湖畔公園「さくら植樹会」

- ・参加者：ボランティア85人
- ・協力団体：松本地方事務所、松本地域森林林業振興会、松本広域森林組合

聖湖畔公園「花苗の植栽」(春・秋)

- ・参加者：麻績保育園の年長、年中の皆さん
- ・協力者：地域おこし協力隊

D51 蒸気機関車の修復

D51 蒸気機関車は昭和18年に川崎車両工場
 で誕生し東北本線、北陸線、中央西線を走り昭和
 47年4月に休車となりました。
 その後、村民有志の働き掛けで旧国鉄から村へ
 譲渡され、昭和47年5月18日に聖高原に移され
 設置がされました。

屋外展示のため長年の風雨により塗装が落ち
 赤くさび付いたり、鉄板が朽ちたりした部分を塗装
 を落とした上で、場所によっては鉄板を取り替え、
 手作業で再び塗装を行いました。



D51 蒸気機関車の修復



古い塗装を手作業で削り落す



ハンドグラインダーを使い古い塗装を削り落す



腐食した鉄板を張りなおす

D51 蒸気機関車の修復



刷毛を使ってさび止め塗装をする



スプレーガンを使って仕上げ塗装をする



刷毛を使って細部の塗装をする

D51 蒸気機関車の修復



さくらの植樹会

湖畔公園に続く道沿いにはソメイヨシノを中心に50本～60本の桜がありました。樹齢が50年近くで病気にかかったり樹勢が弱り花の咲き具合が悪くなった木が大半でした。

それらを伐採した後に、約85名のボランティアの方々によりオオヤマ桜の苗木100本の植栽を行いました。

さくらの植樹会



湖畔公園への道沿いに植栽をする参加者



湖畔公園内に植栽をする参加者

さくらの植樹会



花苗の植栽



この事業で新設をしました花壇80平方メートルへ麻績保育園の園児が地域おこし協力隊などから植え方を教わり春と夏に各1,200株の花苗の植栽を行いました。



花苗の植栽



事業の効果

デゴイチの修復については、延べ140人のボランティアの参加により修復作業が行われました。

ボランティアは小学生から当時を知る年配の方々までと幅広い年齢層が集まり、作業の間には当時の話などを聞くことができました。

また、作業を通して参加者どうしの交流が生まれるなど世代間交流ができました。

「さくらの植樹会」については、村民を中心とした80名の多くのボランティアに参加をいただき行うことができました。

その中の小学生の参加者は新聞取材に対して「大人になって遊びに来たとき、大きく育っていてほしい」、「自分の植えた木が春に満開になるのを見たい」と話しています。

この植樹を通して少しではありますが、郷土「麻績村」そして「聖高原」に愛着を持ってくれたものと考えます。



この「おみごと！デゴイチ修復事業」を行う中で、新聞各紙・ラジオなどで事業を取り上げていただき「麻績村」、「聖高原」が多くの人の目や耳に触れたことにより、地元住民には地域の資源として再認識してもらうことができ、村外の皆様には「聖高原」を身近な観光地として認識いただけたものと考えます。

今後の課題など

当時、湖畔公園にD51蒸気機関車を運び込んだ方々と、この事業にボランティアとして参加をいただいた皆様の思いを次世代に引き継ぐために、適切な管理・保管をして数年後には咲く桜の花も含め、多くの方々が楽しめる場所に行きたいと思います。



おわりに

本事業は、多くのボランティアの方々にご協力をいただき実施することができました。

ご参加いただきました皆様に感謝するとともに、事業実施にあたり、ご協力をいただきました松本地方事務所、松本地域森林林業振興会、松本広域森林組合の皆様にご礼を申し上げ、「地域発元気づくり支援金」活用事例発表を終わらせていただきます。

ご静聴ありがとうございました。



D51蒸気機関車 修復完成披露 平成26年8月30日(土)

